

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		多様性を尊重する社会の確立		課(室)名	都市交流室
	施策		誰もが活躍できる環境の形成		電話番号	087-839-2197
	取組方針		多文化共生の推進		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		多文化共生推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	国際化の進展に伴い、近年増加する在住外国人等を支援するため、外国語に専門性を有する会計年度任用職員を配置し、案内表示板、チラシ等の翻訳や通訳業務を行うほか、（公財）高松市国際交流協会と協力し、日本語習得支援事業を実施し、在住外国人等が地域社会の一員として社会参画できる、多文化共生のまちづくりを推進する。				
年度概要	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員 3 人配置				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

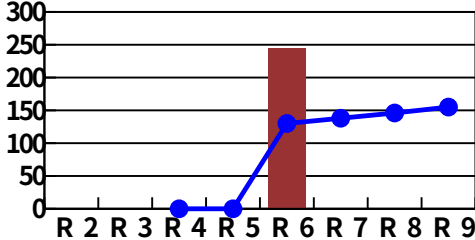
対象（何を）	在住外国人
意図（どのような状態にしたいか）	近年増加している在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるよう支援し、社会参画を促進する。

【事業の活動】

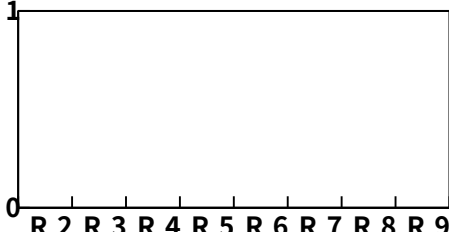
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	日本語習得支援事業開催回数	回	0	0	59	40	40
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
日本語習得支援事業参加外国人数	人	目標値	0	0	130	138	146
		実績値	0	0	245		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
（公財）高松市国際交流協会と協力して行う日本語習得支援事業に新規事業が加わり、事業への参加外国人数が増加したことにより、在住外国人の生活支援や社会参画に寄与することができた。		（目標達成度）	188.9%				
		（得点）	35点				

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		（目標達成度）					
		（得点）					

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	14,373	15,149	22,744	22,815
	(事業費)	10,631	11,385	14,414	14,585
	(職員人件費)	3,742	3,764	8,330	8,230

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員3人配置	報酬額等 14,414千円	総額	14,414	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,414	
令和 7 年度	英語・中国語の専門性を有する会計年度任用職員3人配置	報酬額等 14,585千円	総額	14,585	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	14,585	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）
（公財）高松市国際交流協会と協力して行う、日本語習得支援事業に新規事業が加わり、事業への参加外国人数が増加したことにより、在住外国人の生活支援や社会参画に寄与することができた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）

近年増加傾向にある在住外国人等が、地域社会の一員として活躍できるまちづくりを推進することが必要とされており、今後も継続実施していくことが適当である。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	都市交流室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2197
	取組方針	M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	国内交流推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	国内の提携都市との交流活動を推進するほか、高松市国分寺地域と「歴史文化交流協定」を締結している下野市との交流事業を行う団体に対し、事業補助金を交付することにより、多彩な地域間交流を促進し、人がにぎわい、活力あるまちづくりを進める。				
年度概要	①交流事業補助金 ②国内都市訪問等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

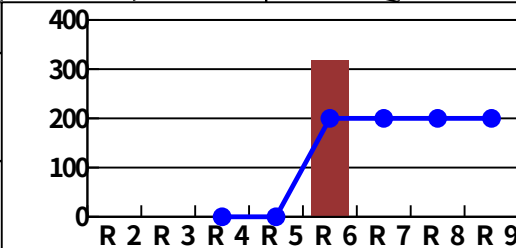
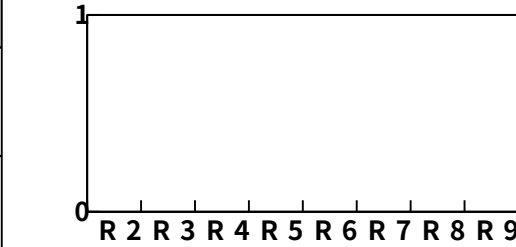
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	国内提携都市との間で、多彩な地域間交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 国内の提携都市との交流事業開催数	回	0	0	3	2	2
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	国内の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	200 317	200	200
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	高松市・水戸市親善都市提携50周年記念事業を開催し、水戸市関係者や水戸市同様に歴史的つながりの深い彦根市関係者、高松松平家及び水戸徳川家の御当主に加え、多くの高松市民が参加し、記念の年を祝うことにより地域間交流を深めることができた。							
	(目標達成度) 158.5% (得点) 35点							
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	(目標達成度)							
	(得点)							

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	4,242	4,264	10,104	9,167
	(事業費)	500	500	1,774	945
	(職員人件費)	3,742	3,764	8,330	8,222

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	①交流事業補助金 ②国内都市訪問等 ③高松市・水戸市親善都市提携 50周年記念事業	①500千円 ②103千円 ③1,171千円	総額	1,774	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	500
			一般財源	1,274	
令和 7 年度	①交流事業補助金 ②国内都市訪問等	①500千円 ②445千円	総額	945	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	945	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
水戸市との親善都市提携50周年記念事業を開催し、参加した多くの市民とともに記念の年を祝うことにより、地域間交流を深め、人がにぎわい、活力あるまちづくりを推進することができた。 また、貴重な文化資源を相互に有し、長きに渡り交流を行ってきた高松市国分寺地域と下野市との交流事業に対する支援の継続は、今後も必要である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
国内の提携都市との交流は、互いの地域の活性化や交流人口の拡大につながることから、継続実施することが適当である。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	都市交流室
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2197
	取組方針	M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	国際交流推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	市民の豊かな国際感覚の涵養を図るため、海外の提携都市等との交流活動を推進するほか、国際交流団体への支援を通じた市民レベルでの国際交流を促進する。				
年度概要	①海外の提携都市等との交流 ②高松市国際交流推進協議会の開催 ③（公財）高松市国際交流協会事業補助 ④高松市・南昌市友好都市提携35周年記念事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	海外の異なる文化や習慣を理解し、お互いを尊重し合える国際感覚を醸成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① 海外の提携都市との交流事業開催数	回	0	0	6	6	6
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	海外の提携都市との交流事業参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	200 282	200	200
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （公財）高松市国際交流協会や民間団体等と協力し、海外の提携都市との交流事業がコロナ禍前の水準で実施することができ、事業参加者数を増やすことができた。			（目標達成度） 141.0% （得点） 35点				
成果指標②	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（目標達成度） （得点）				

